



NO. 2267
2021. 10. 3

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
智子友
いわぶち
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎ 22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所
関 徹
長者町11-26
24-2414
加藤 鋳一
宝徳 仲田56
64-3941
菅井 巖
中 楠 9 6
33-0534

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993
山田 守
宝田1-9-1-31
23-6548
長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148



政権与党の市政に逆戻りさせない！ 誰一人取り残さない市政に！！ 市民党市長・共産党市議5人全員勝利を



長谷川つよし候補 山田まもる候補 坂本まさえ候補 菅井いわお候補 加藤こういち候補

任期満了に伴う鶴岡市長選挙と市議会議員選挙が3日告示、10日投票でたたかわれます。日本共産党は、鶴岡市長選挙では現職の皆川治市長を「自主的支援」し、2期目の再選を目指します。鶴岡市議会議員選挙（定数28）では、定数4減のもとで、現有議席5人の必勝を目指します。

政権与党系候補は
誹謗中傷で全市を席巻

鶴岡市長選挙は、政権与党の市政に逆戻りさせようと、誹謗中傷を広げ、多額の経費が予想される物量作戦と事前運動は、巨大すぎて取り締まりの対象にならず、全市を席巻しています。

皆川治市長はコロナ対策など執務に最後まで努力しながら、「反対する人も全て市民、

「核禁条約批准」自公・市民クが反対

選挙で核廃絶求める議員を多数派に

鶴岡市議会9月定例会は9月22日閉会しました。

「核兵器禁止条約の署名・批准を国に求める意見書提出に関する請願」（つるおか被爆者の会・三浦恒祺、他4団体）は21日、新政クラブと公明党、市民クラブの反対多数で不採択となりました。

賛成は共産党5人と無党派の2人、市民クラブ1人でした。

「核抑止」は広島・長崎の惨禍繰り返す

誰一人取り残さない市政を前に進める」（25日、東京第一ホテル鶴岡での集会）と述べ、市民の良識に信頼をおいています。

自公政治変える突破口に

10月の選挙は、11月に予定される総選挙に真っ直ぐつながっていきます。

政治を私物化し、強権政治で憲法を破壊

し、コロナ対策に失敗してきた「自公政治」を終わらせる、新しい時代が目の前に現れます。

いわぶち友参院議員 市議選応援演説

- 10月3日(日)
10時 長谷川つよし候補
平和観光駐車場
11時 坂本まさえ候補
コープ青柳センター前
13時30分 加藤こういち候補
藤島中学校前
14時30分 山田まもる候補
新海町・元コープ前
15時30分 菅井いわお候補
コープ大山センター前

坂本昌栄議員が共産党市議団を代表し、賛成討論で、「核抑止政策はいざという時に核兵器を使うぞという脅しであり、まさに広島や長崎のような非人道的な惨禍を繰り返すことを意味している。

平和都市宣言を掲げる本市、市民からの願いに込めることが議会のあるべき姿」と訴えました。

原爆の非人道性

日本の役割は、核保有国を含め世界中の国々に、核兵器廃止の交渉のテーブルに着けるよう粘り強く働きかけることだ」と述べました。

続いて中沢洋議員は賛成討論で、「私は議会視察で2度、

(2面につづく)



JCP鶴岡地区HP

2021年9月議会 賛否が分かれた議案 (○賛成 ●反対)

	共産党			無		市民クラブ		公明		新政クラブ																				
	長谷川剛	坂本昌栄	山田守	菅井巖	加藤敏一	草島進一	中沢洋	田中宏	石井清則	加賀山茂	小野由夫	秋葉雄	富樫正毅	黒井浩之	五十嵐一彦	菅原一浩	尾形昌彦	佐藤昌哉	本間正芳	阿部寛	石塚慶	小野寺佳克	本間信一	野村廣登	齋藤久	洪谷耕一	佐藤文一	佐藤博幸	本間新兵衛議長	
核兵器禁止条約の署名・批准を国に求める意見書提出に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴岡市中小企業振興条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(1面のつづき)

広島原爆記念館を視察した。

原爆の非人道性や被害の凄惨さ、戦争の悲惨さを感じ、地球上で二度と繰り返してはならない」と述べました。

被爆国として核廃絶をリードすべき

齊藤久議員(新政ク)は反対討論で、「核の脅威がいまだ存在する中で、米国の核の傘の抑止力は不可欠だ。核禁条約に参加すれば、米国による抑止力

の正当性を失う」と述べ、同会派の反対討論を補強しました。

草島進一議員は賛成討論で、「唯一の戦争被爆国として条約を受け止め、非核三原則を貫き、世界の核廃絶をリードすべき」と述べました。

皆川市長「核禁条約」発効と平和訴え

北朝鮮や中国の脅威を理由に、「抑止力」

中小企業振興条例否決 自公が反対「政争の具に

3月議会に提案され、2度の継続審議になっている「鶴岡市中小企業振興条例」が、9月22日の本会議で自公派の反対多数で否決されました。

修正も可能だ

長谷川剛議員が共産党市議団を代表し、賛成討論で、「一昨年の消費税10%増税に加え、新型コロナウイルスの影響が長期に及び、中小企業への支援は待ったなしだ。

平成25年6月定例会でわが党議員が条例の制定を求め、この8年間で制定を求める議員の質問が相次いだ。

議会として、コロナで苦しむ中小企業の支援を止めることがあってはならない。不足があれば、修正や付帯決議も可能だと訴えました。

「不足している」と反対

強化となれば、際限なく核軍拡になります。

皆川市長は、8月9日の「鶴岡市平和の集い」に出席し、本年1月の核兵器禁止条約発効にふれ「平和の大切さを訴えていく」と決意を述べました。

核廃絶の立場に立つ

皆川治市長の再選と、市議選で条約批准を求める議員を多くすること、総選挙で条約を批准する政府をつくることを求められます。

石塚慶議員が新政クラブを代表して反対討論し、「市商工会議所は早期の制定を求めている。事業者への調査をおこない盛り込むべき。

教育機関との連携や、若者のUターン策も取り上げるべき。

企業との対話が不足している。魂のこもっていないスローガンのな条例に反対」などと述べました。

「足りない」は反対理由にならない

議員が当局提案に反対する場合は、「悪い結果をもたらす」とか「悪影響が及ぶ」など、理由を明らかにすべきですが、それはありません。

議員が「足りない」、「するべき」と指摘するのであれば修正案を示すべきで、議会における反対理由にはならず、行政の執行権にマツタをかけるだけの反対です。

市の見積りが安い、適正な取引を

長谷川剛議員は賛成討論で「本市条例案では、市は中小企業者との契約について、『公正性、透明性及び競争性を確保するとともに、品質及び適正な履行が確保できるような必要な措置を講ずるよう努めます。』とされ、『適正な取引』を実現する意義のある条例です。」と評価しました。

前榎本市政下では、加茂水族館建設事業など、地元業者は公共事業の安すぎる見積り価格で赤字を背負われ、泣かされた事例は少なくありません。条例を制定して「適正な取引」を義務化するべきです。自公派の条例反対は、政権与党の前市政に戻すための「政争の具」にした結果です。



「核禁条約批准を求める」請願の採決 自公派、市民クラブの反対で不採択(9月21日)

<p>教育委員会管理課入札結果 () 内は予定価格</p> <p>9月22日入札分</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立鶴岡第五中学校ボイラー更新工事 (大山字若柳271番地) (入札7業者) (株)山形住設 6,920,000円 (8,140,000円) 工期~4/1/14 (落札率85.01%)
<p>教育委員会社会教育課入札結果 () 内は予定価格</p> <p>9月22日入札分</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧東田川郡役所及び郡会議事堂保存修理工事 中止
<p>土木課入札結果 () 内は予定価格</p> <p>9月22日入札分</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路3・4・19号山王町本町線電線共同溝・消雪設備整備工事 (本町一丁目地内) (入札4業者うち1業者辞退) (株)佐藤工務 90,500,000円 (91,469,000円) 工期~4/3/25 (落札率98.94%)